

認 定 書

国住参建第 177 号
令和 3 年 7 月 15 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1168
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん
／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表 1 に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ262mm以下)
	面積	0.0540m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面面積の総合計の割合)		91.4%
配管と躯体との隙間の寸法 (クリアランス)		5～23mm(1周巻き) 10～23mm(2周巻き)
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表 2 に、配管の構成材料を表 3 に示す。

表 2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性シート	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート	
	寸法	総厚さ：3.18(±0.1)mm以上 幅：70mm以上(埋設部70mm以上)	
	使用箇所	配管の外周部に1周又は2周以上巻き付け (突き合わせ又はオーバーラップ) 2周巻き以上付け：配管①、配管② 1周巻き以上付け：配管③	
	表面材 (外面側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ
		厚さ	0.18(±0.1)mm以上
	シート (本体)	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		組成 (質量%)	
		厚さ	3.0mm以上
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05mm以下
	充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系
		使用箇所 (使用量)	配管と躯体(壁)との隙間に密に充てん (壁厚方向 22mm以上(片側当たり))

表3 配管の仕様

仕 様						
配管	①	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (記号：VP、HIVP、HT) (ただし、JIS に規定する外径及び厚さ以外 の管については、規定された要求性能 を満足するもの)	外 径	φ 216mm 以下	厚 さ	11mm 以下
		②		ポリブテン管 (JIS K6778)		φ 114mm以下
	③	ポリブテン管 (JIS K 6778)		φ 89mm以下		7.45mm以下
		金属強化ポリエチレン管 材質：ポリエチレン系樹脂 (中間層：アルミニウム)		φ 63.1mm以下		6mm以下
		結露防止層付塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層		φ 89mm以下		10mm以下

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様
貼合わせ用テープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリプロピレン系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系
	寸法	厚さ：0.2mm 以下、幅：70mm 以下、長さ：100mm 以下
	使用箇所	必要に応じて、熱膨張性シートの固定に使用
開口部 補助材	材料	仕様：あり(中空壁で配管①の場合) なし(中空壁以外の壁の場合又は、中空壁で配管②、配管③の場合) ①～⑥の一 ①溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ②溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ③クロムめっき鋼板 (JIS G 7122) ④熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) ⑤冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) ⑥ぶりき (JIS G 3303)
	寸法	厚さ：0.25mm 以上、幅：100mm 以上

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm

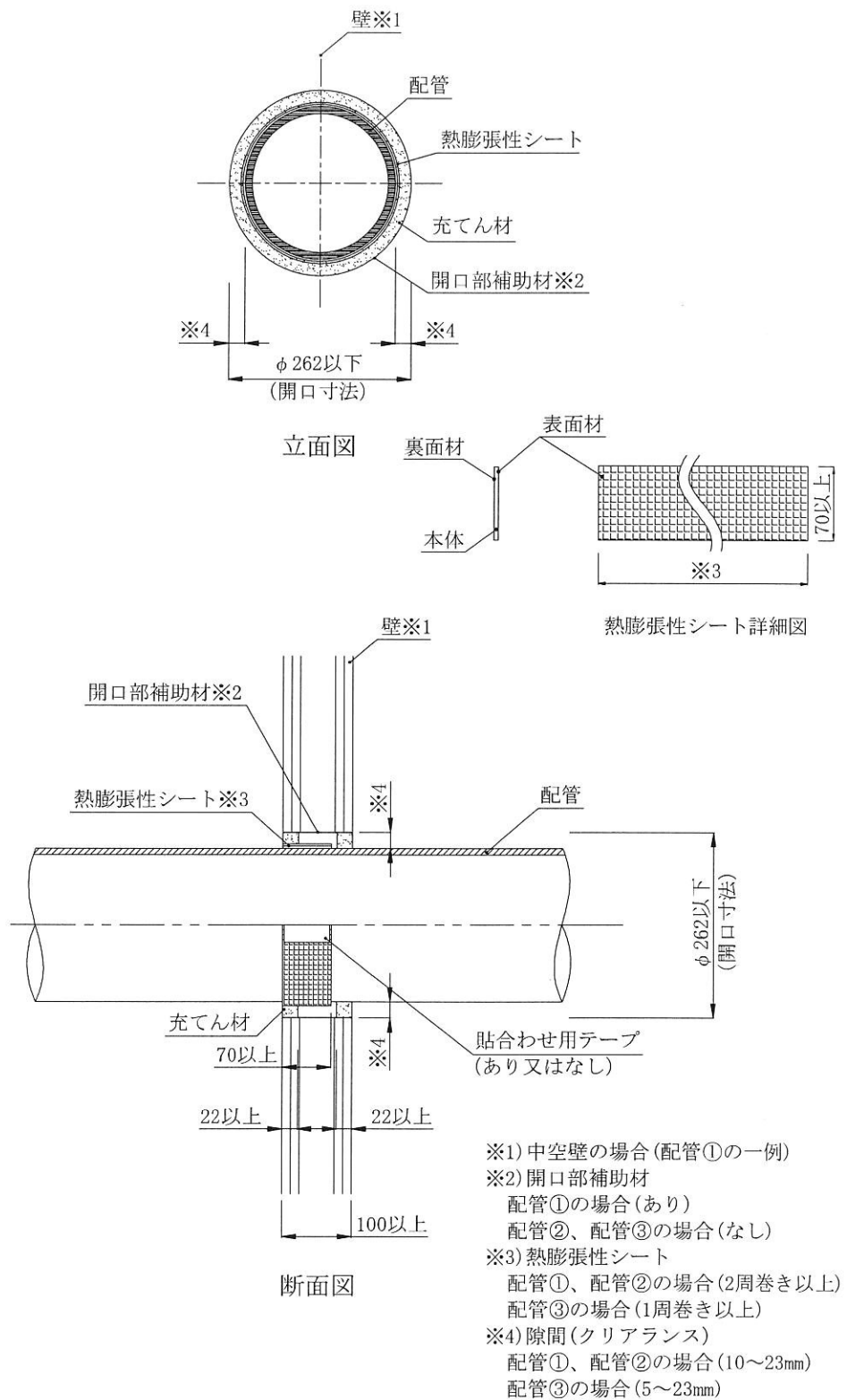


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm

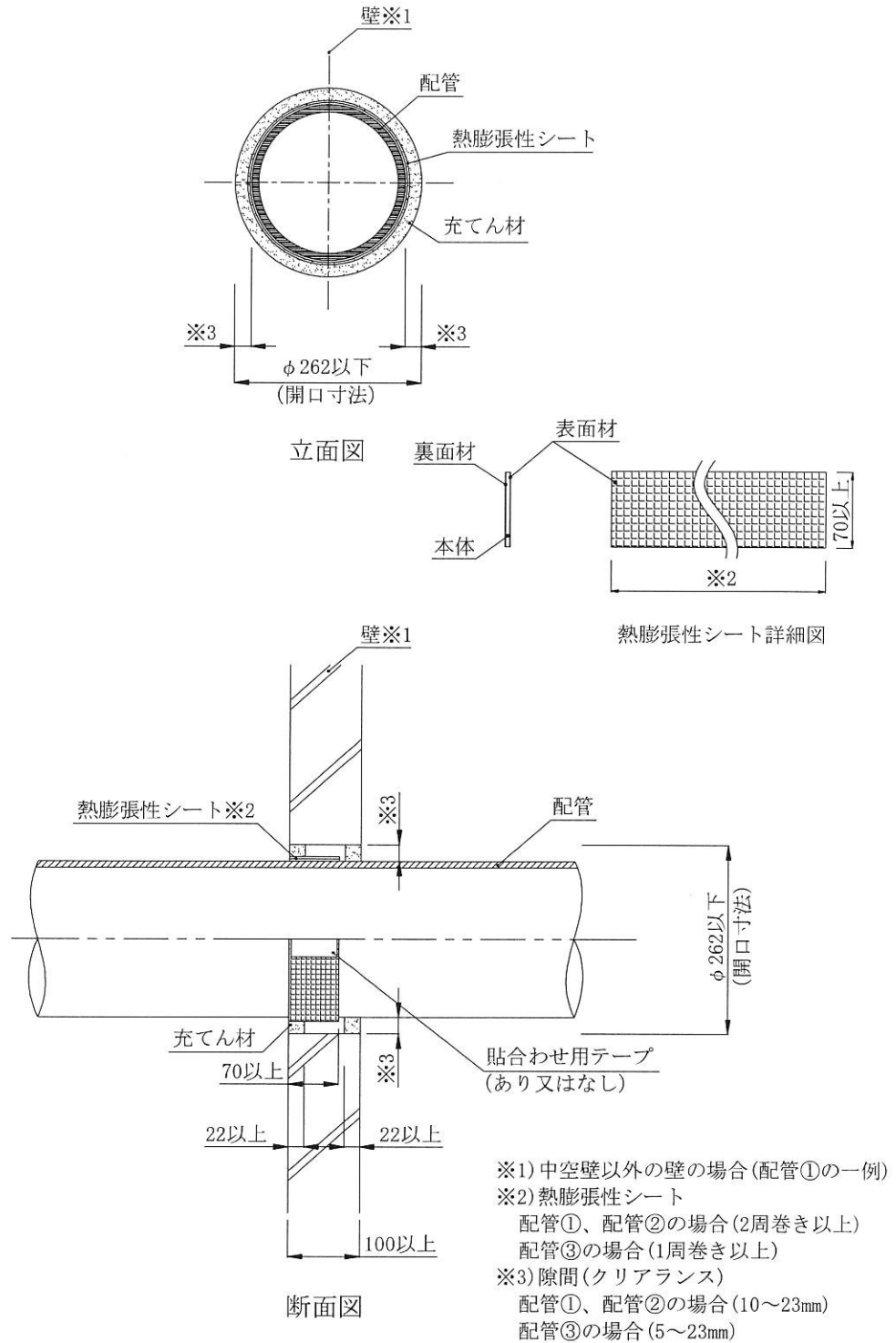


図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通穴の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通穴を設ける。
- (2) 配管の設置
配管を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
配管に熱膨張性シートを巻き付け（突き合わせ又はオーバーラップ）、必要に応じて貼合わせ用テープで熱膨張性シートを固定する。
- (4) 熱膨張性シートの設置
熱膨張性シートを 70mm 以上埋め戻すようにスライドさせる。
熱膨張性シートの幅が 70mm を超える場合は、超えた分が壁面からはみ出しているも良い。
- (5) 充てん材の埋め戻し
配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を密に（壁厚方向 22mm 以上（片側当たり））充てんする。